

## 事故ゼロの達成を

鍛冶田工務店

鍛冶田工務店（鍛冶田八彦社長）と同社安全衛生協力会は26日、大阪市北区の帝国ホテル大阪で2026年度関西支店労働安全衛生大会を開いた。写真。同社や協力会社から約350人が参加し、「安全がすべてに優先する」という安全衛生管理方針の下、労働災害

と公衆災害の撲滅に向けまい進することを誓い合った。

冒頭、鍛冶田社長は「協力会社との連携により、現場全体の安全に対する意識は確実に向上している。事故ゼロを達成するためにも、不安全行動を目にした時に『危ない』『ありがとう』と言ひ合える環境をつくってほしい」と呼び掛けた。



中央安全衛生委員会の柏原幸嗣委員長は「誰かが守ってくれるのではなく、現場にいる全員が作り続けるものが安全だ。本年度の安全目標を必ず達成するという決意を新たにしていほしい」とあいさつ。大阪中央労働基準監督署の佐名木章夫安全衛生課長の来賓あいさつの後、表彰式と安全宣言が行われた。

第2部の安全衛生協力会総会に続き、第3部の「安全がすべてに優先する」では協力会社2社の取り組み紹介の後、工事が現地KY（危険予知）の重要性や方法を実際の事例を基に発表した。最後に日野辰己専務が「明日からの安全活動で本大会を意味のあるものにし、どのような環境にあっても持続可能な会社づくりを目指していこう」と締めくくった。

